

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和7年1月～3月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				前期（令和6年10～12月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				今期（令和7年1～3月）と比べた 来期（令和7年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	22.8	43.9	△ 10.5	26.3	21.1	52.6	△ 26.3	38.6	26.3	35.1	3.5
2 採 算	18.2	41.8	40.0	△ 21.8	19.6	35.7	44.6	△ 25.0	28.6	48.2	23.2	5.4
3 仕 入 単 価	86.0	12.3	1.8	84.2	64.9	33.3	1.8	63.2	58.9	37.5	3.6	55.4
4 従 業 員 数					3.6	89.1	7.3	△ 3.6	7.3	83.6	9.1	△ 1.8
5 資 金 繰 り					13.2	60.4	26.4	△ 13.2	18.9	66.0	15.1	3.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	16.4	45.5	38.2	-21.8		25.5	41.8	30.9	-5.5		0.0	78.2	20.0	△ 20.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	35.0	15.0	6.7	56.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	3.3	6.7	8.3	18.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	1.7	1.7	8.3	11.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	1.7	1.7
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.0	5.0	3.3	13.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	21.7	33.3	6.7	61.7	11 需 要 の 停 滞	6.7	10.0	13.3	30.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	1.7	5.0	6.7
6 人 手 不 足	6.7	3.3	13.3	23.3	13 そ の 他	3.3	0.0	6.7	10.0
7 人 件 費 の 増 加	1.7	6.7	5.0	13.3	無 回 答	15.0	16.7	21.7	—

注) 「全体」＝（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				前期（令和6年10～12月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				今期（令和7年1～3月）と比べた 来期（令和7年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	44.4	22.2	33.3	11.1	55.6	11.1	33.3	22.2	33.3	22.2	44.4	△ 11.1
2 採 算	28.6	42.9	28.6	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	37.5	12.5	37.5
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	77.8	22.2	0.0	77.8	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従 業 員 数					0.0	88.9	11.1	△ 11.1	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資 金 繰 り					37.5	25.0	37.5	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	33.3	55.6	11.1	22.2		33.3	33.3	33.3	0.0		0.0	77.8	22.2	△ 22.2

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体	経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	11.1	11.1	44.4	66.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	11.1	33.3	44.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	22.2	0.0	0.0	22.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	22.2	44.4	11.1	77.8	11 需 要 の 停 滞	22.2	11.1	0.0	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.1	0.0	0.0	11.1	13 そ の 他	11.1	0.0	11.1	22.2
7 人 件 費 の 増 加	0.0	22.2	0.0	22.2	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」＝（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・アメリカの関税問題で輸出価格の交渉が生じている。（清酒製造業）
- ・業界ではオフセット印刷からオンデマンド印刷に移行している。人手不足に対しては、ChatGPTなどのAIツールを活用し、業務効率を高め生産性向上に努める。（印刷業）
- ・「米」の仕入価格の上昇と在庫不足のため、特にふるさと納税について売りたくても売れない状況。大幅な値上げにより離れたお客さんもあり。複数の部署をこなせる人材を育てるとともに、DX化も引き続き進めていく。ネットショップも見直しに取組中。（めん類製造業）

《 建 設 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				前期（令和6年10～12月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				今期（令和7年1～3月）と比べた 来期（令和7年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	12.5	12.5	75.0	△ 62.5	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	62.5	12.5	25.0	37.5
2 採 算	0.0	12.5	87.5	△ 87.5	0.0	50.0	50.0	△ 50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
3 仕 入 単 価	87.5	12.5	0.0	87.5	62.5	37.5	0.0	62.5	62.5	37.5	0.0	62.5
4 従 業 員 数					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
5 資 金 繰 り					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	0.0	42.9	57.1	△ 57.1		14.3	57.1	28.6	-14.3		0.0	71.4	28.6	△ 28.6

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	50.0	37.5	0.0	87.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	12.5	0.0	12.5
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	25.0	25.0	50.0	11 需 要 の 停 滞	25.0	0.0	12.5	37.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	12.5	0.0	37.5	50.0	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	12.5	12.5	25.0	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 建築工事業費がこの数年で約1.5倍上がり需要も減っており、利益確保が難しくなっている。建設業以外の不動産業にも力を入れ、建築・土木と関連する事業を展開する。社員の暮らしが守れるよう賃上げも積極的に行う。高齢化する人材も大事にし、若手も育てることが重要。（一般土木建築工事業）
- ・ リフォームはあるが、今後新築の需要が減っていくのではないかと懸念している。（電気工事業）
- ・ インボイスを未だに知らない下請けさんの消費税を負担する状況が続いている。（一般土木建築工事業）
- ・ 電気通信業界は光ファイバー化が行き届いてきたので減少傾向にある。業種に限らず、資材の高騰等の影響による不況感がある。（電気通信工事業）

《卸 ・ 小 売 業》	
1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況	(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				前期（令和6年10～12月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				今期（令和7年1～3月）と比べた 来期（令和7年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	43.8	18.8	37.5	6.3	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	18.8	31.3	50.0	△ 31.3
2 採算	18.8	43.8	37.5	△ 18.8	18.8	37.5	43.8	△ 25.0	12.5	56.3	31.3	△ 18.8
3 仕入単価	75.0	18.8	6.3	68.8	43.8	50.0	6.3	37.5	50.0	37.5	12.5	37.5
4 従業員数					6.3	87.5	6.3	0.0	6.3	81.3	12.5	△ 6.3
5 資金繰り					13.3	66.7	20.0	△ 6.7	13.3	60.0	26.7	△ 13.3

今期の状況										(%)				
業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	20.0	40.0	40.0	-20.0		26.7	46.7	26.7	0.0		0.0	73.3	26.7	△ 26.7

経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体	経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	44.4	11.1	0.0	55.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	0.0	0.0	11.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	11.1	11.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.6	5.6	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	16.7	38.9	0.0	55.6	11 需 要 の 停 滞	0.0	11.1	16.7	27.8
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	5.6	5.6
6 人 手 不 足	0.0	5.6	16.7	22.2	13 そ の 他	0.0	0.0	16.7	16.7
7 人 件 費 の 増 加	5.6	11.1	16.7	33.3	無 回 答	16.7	16.7	16.7	—

- ・食品など全般の物価が上昇しているため、洋服への客単価がやや落ちている。ポップアップなどイベントを増やしたり、SNSなど広告をうったりとリピーター以外のフリーのお客様にアプローチする。賃上げや福利厚生などを充実させ、人員不足にならないよう働きやすい環境をいつも整える。（婦人服小売業）
- ・出張販売や近隣への配達、店舗でのマルシェやギフト需要への対応などサービスを向上していく予定。生成AIをどんどん使って無駄や時間とお金を削減する。（パン製造業）
- ・原材料高で商品が高くなり、お客様が買い控えられるようになった。完全に修理不能にならないと購入されない。小物を含めてネットを利用されている。（電気機械器具小売業）

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				前期（令和6年10～12月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				今期（令和7年1～3月）と比べた 来期（令和7年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	30.8	46.2	23.1	7.7	23.1	38.5	38.5	△ 15.4	38.5	38.5	23.1	15.4
2 採 算	23.1	69.2	7.7	15.4	23.1	46.2	30.8	△ 7.7	30.8	61.5	7.7	23.1
3 仕 入 単 価	76.9	23.1	0.0	76.9	53.8	46.2	0.0	53.8	53.8	46.2	0.0	53.8
4 従 業 員 数					0.0	92.3	7.7	△ 7.7	7.7	92.3	0.0	7.7
5 資 金 繰 り					15.4	69.2	15.4	0.0	23.1	69.2	7.7	15.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	15.4	69.2	15.4	0.0		38.5	46.2	15.4	23.1		0.0	84.6	15.4	△ 15.4

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	30.8	7.7	0.0	38.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	15.4	0.0	15.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	7.7	0.0	23.1	30.8	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	7.7	7.7
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	7.7	7.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	23.1	15.4	0.0	38.5	11 需 要 の 停 滞	0.0	15.4	7.7	23.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	15.4	15.4
6 人 手 不 足	7.7	7.7	0.0	15.4	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	30.8	38.5	38.5	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- 介護用品の仕入が上昇しているが、納入先にはご理解いただき価格転嫁できている。従業員は20～40代が多いので働きやすい環境づくりに力を入れる。（物品賃貸業）
- 光熱費・ガソリン代・物価の高騰で経費が増加しているが、ニーズを考えると価格を上げることが出来ない。また、宿泊施設が増えてきて競争が激しくなっている。（宿泊業）
- 仕入商材の高騰で値上げせざるを得なくなり、その影響により客単価がなかなか上がらない。これ以上お客様を減らさないように対策を練っている。（美容業）
- SNS戦略で新規率が10%増加した。今後は設備導入により効率化を図り残業を減らす。価格の値上げも検討。（自動車整備業）
- 消費者のネット購入が多く、来店間隔が長くなっている。ネット購入する消費者に対し、どのようなアプローチが効果があるか検討中。（ペット用品小売業）

《飲 食 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				前期（令和6年10～12月）と比べた 今期（令和7年1～3月）の状況				今期（令和7年1～3月）と比べた 来期（令和7年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	27.3	9.1	63.6	△ 36.4	9.1	0.0	90.9	△ 81.8	54.5	18.2	27.3	27.3
2 採 算	18.2	27.3	54.5	△ 36.4	9.1	18.2	72.7	△ 63.6	18.2	45.5	36.4	△ 18.2
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	81.8	18.2	0.0	81.8
4 従 業 員 数					11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資 金 繰 り					0.0	33.3	66.7	△ 66.7	11.1	55.6	33.3	△ 22.2

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	9.1	18.2	72.7	-63.6		10.0	30.0	60.0	-50.0		0.0	90.0	10.0	△ 10.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	33.3	16.7	0.0	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	8.3	16.7	25.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	8.3	16.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	41.7	41.7	8.3	91.7	11 需 要 の 停 滞	0.0	8.3	25.0	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	8.3	0.0	8.3
6 人 手 不 足	8.3	0.0	16.7	25.0	13 そ の 他	8.3	0.0	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	8.3	8.3	25.0	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 高齢化が進み、お出かけされる方が減ってきた。お客様1人1人を大事にして色々話を聞いてあげる。一緒に笑って楽しんで帰っていただく。（居酒屋、ビアホール）
- ・ 夜のお客様が落ち込み、原材料高で手が出せないものが出てきた。都会からのバスツアー客の申し込みが2～3出てきた。（西洋料理店）
- ・ 物価高は止まらないが、値上げとともに良い商品を提供し（手作り、安全な商品）、お客様にしっかりとお返ししていきたい。新しいサービスも考えている。（喫茶店）
- ・ コーヒー生豆はコロナ前の価格の2倍を超え、これからも高くなっていくと思われる。（喫茶店）